

令和元年10月15日

水辺の緑いっぱい作戦

令和元年10月15日に三笠市立岡山小学校3年生の8名と一緒に「水辺の緑いっぱい作戦」を行いました。

この取り組みは、平成13年から三笠市内の小学生と一緒に続けており、桂沢ダムの湖岸に植物を植樹して緑いっぱいにするものです。

植樹の指導には、NPO法人近自然森づくり協会理事長の岡村先生に協力していただき、水の中でも枯れにくい「タチヤナギ」や、水の浄化に効果がある「エゾミソハギ」を植樹しました。

また、当日は新桂沢ダム建設工事も見学しました。

※植樹した「エゾミソハギ」の苗木は、種をまき2年以上かけて育てたもので、今後、ダム湖緑化のための母樹として使われます。



植樹方法を真剣に聞く子供たち



「エゾミソハギ」の植樹



「タチヤナギ」の埋枝



紅葉がきれいな桂沢湖をバックに記念撮影